

最近の管内経済概況

(2024年6月の経済指標を中心として)

～ 緩やかに持ち直している ～

最近の動きをみると、

- 生産活動は、一進一退の動きとなっている。
- 個人消費は、緩やかに改善している。
- 観光は、改善している。
- 公共工事は、減少した。
- 住宅建設は、弱い動きとなっている。
- 民間設備投資は、増加している。
- 雇用動向は、弱含んでいる。
- 企業倒産は、件数は増加、負債総額は減少した。

全体として、管内経済は、緩やかに持ち直している。

なお、先行きについては、国際経済の動向等を十分注視する必要がある。

※ 下線部は、前月から判断を変更した部分。

2024年8月26日

照会先 : 経済産業省 北海道経済産業局
総務企画部 企画調査課

T E L : 011-709-2311 内線 2525

E-mail : bz1-hokkaido-kikakuchosa@meti.go.jp

管内経済概況判断の推移

(2024年8月現在)

発表月	2024年3月	4月	5月	6月	7月	8月	前月との判断比較
総括判断	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	
生産活動	一進一退の動きとなっている	一進一退の動きとなっている	一進一退の動きとなっている	一進一退の動きとなっている	一進一退の動きとなっている	一進一退の動きとなっている	
個人消費	緩やかに改善している	緩やかに改善している	緩やかに改善している	緩やかに改善している	緩やかに改善している	緩やかに改善している	
観光	改善している	改善している	改善している	改善している	改善している	改善している	
公共工事	増加した	増加した	減少した (↘)	増加した (↗)	増加した	減少した (↘)	
住宅建設	弱い動きとなっている	弱い動きとなっている	弱い動きとなっている	弱い動きとなっている	弱い動きとなっている	弱い動きとなっている	
民間設備投資	増加している	増加している	増加している	増加している	増加している	増加している	
雇用動向	弱含んでいる	弱含んでいる	弱含んでいる	弱含んでいる	弱含んでいる	弱含んでいる	
企業倒産	件数、負債総額とも増加した	件数は同数、負債総額は減少した	件数、負債総額とも減少した	件数、負債総額とも増加した	件数、負債総額とも増加した	件数は増加、負債総額は減少した	

注：下線部は、前月から判断を変更した部分。

上方修正 据え置き 下方修正

生産活動 ～ 一進一退の動きとなっている ～

6月の鉱工業生産は、前月比▲2.8%と2か月ぶりに低下した。前年同月比は▲2.5%と4か月ぶりに低下した。低下業種は、金属製品工業など6業種となった。上昇業種は、鉄鋼・非鉄金属工業など5業種となった。

< 6月 >

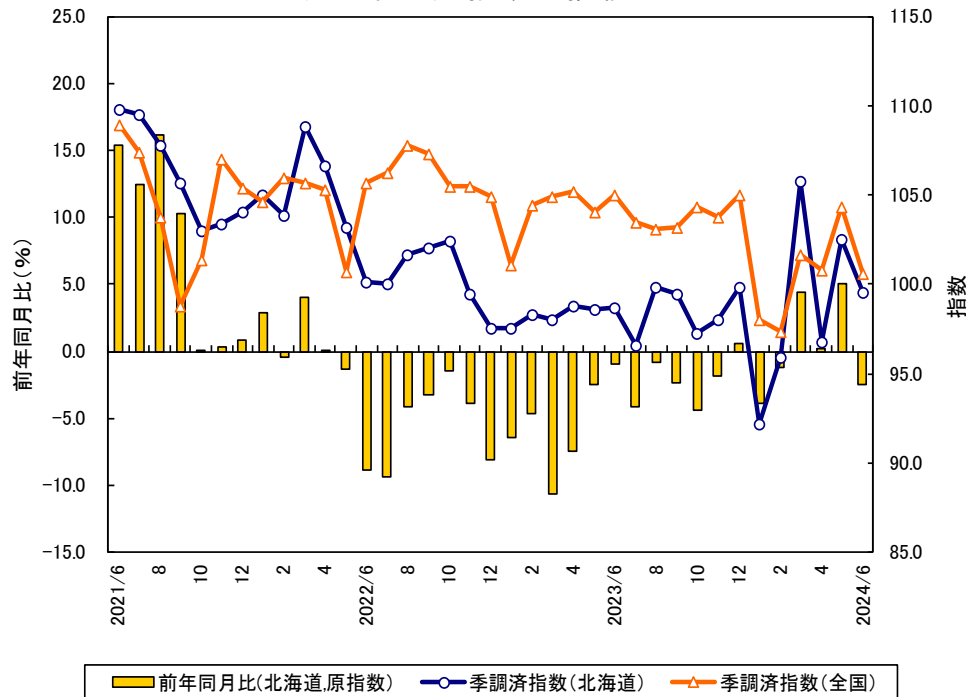
季節調整済指数

北海道（速報） 99.6（前月比▲ 2.8%）

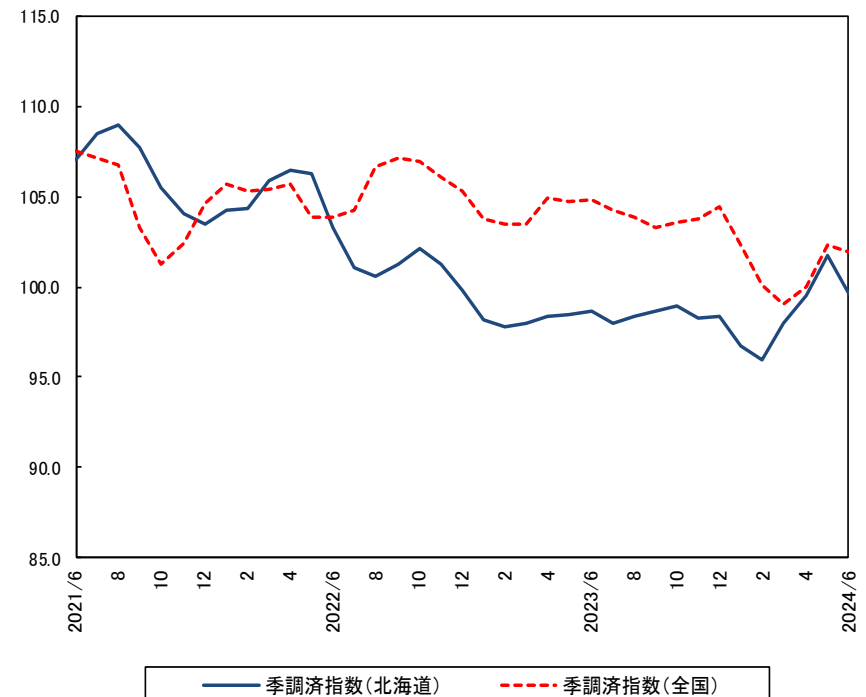
全 国（速報） 100.6（前月比▲ 3.6%）

	業 種	前月比 (%)	前年同 月比(%)	主な品目
低下 6業種	金属製品工業	▲ 17.6	+ 10.1	鉄骨
	パルプ・紙・紙加工品工業	▲ 6.6	▲ 10.4	洋紙
	化学・石油石炭製品工業	▲ 3.2	▲ 4.0	化学・石油石炭製品
上昇 5業種	鉄鋼・非鉄金属工業	+ 9.8	▲ 6.6	鋼半製品

鉱工業生産指数の推移 [2020年=100.0]



鉱工業生産指数の推移(3か月後方移動平均) [2020年=100.0]



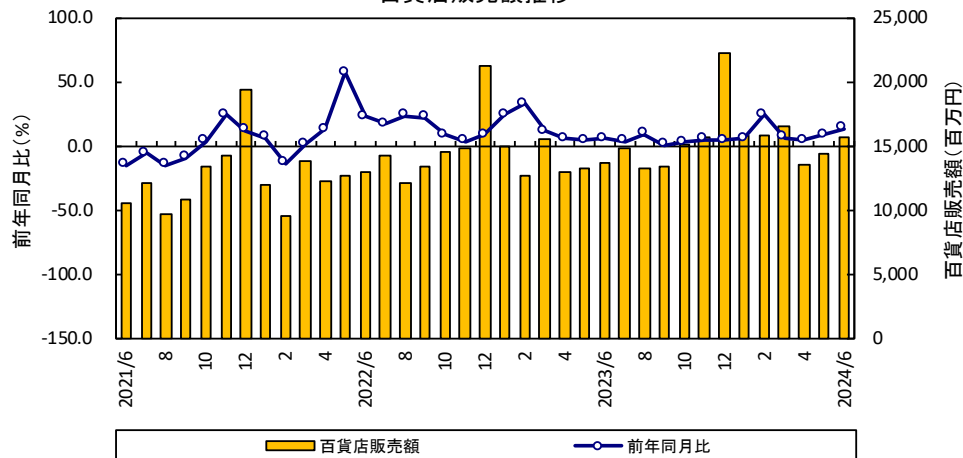
(資料：経済産業省、北海道経済産業局)

個人消費 ～ 緩やかに改善している ～

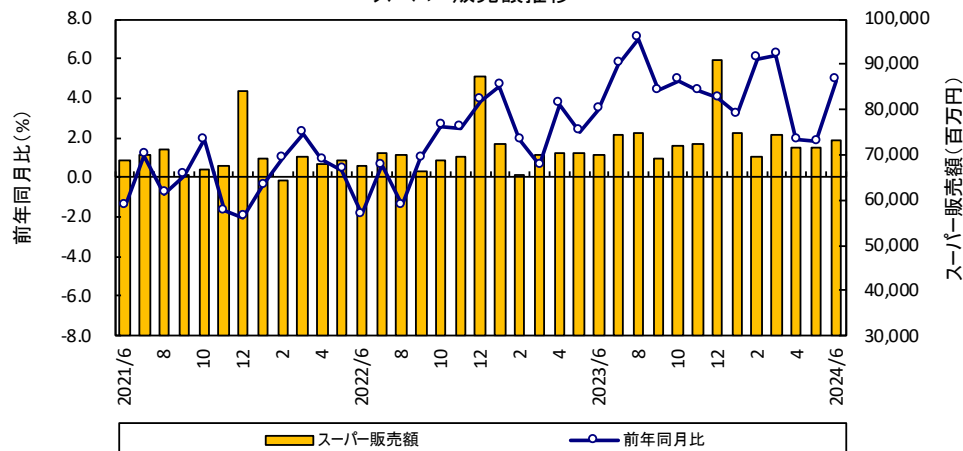
6月の個人消費は、新車販売が前年を下回ったものの、他の6業態は前年を上回った。

- ・百貨店は、高級ブランドの商品などの売上げが好調で、前年同月比+14.2%と28か月連続で前年を上回った。
- ・スーパーは、飲食料品の売上げが増加し、同+4.9%と22か月連続で前年を上回った。
- ・コンビニエンスストアは、同+1.8%と32か月連続で前年を上回った。

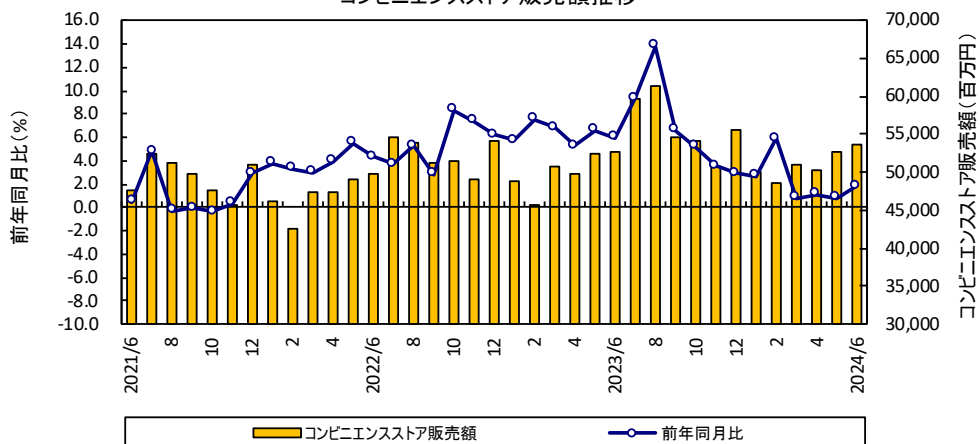
百貨店販売額推移



スーパー販売額推移



コンビニエンスストア販売額推移

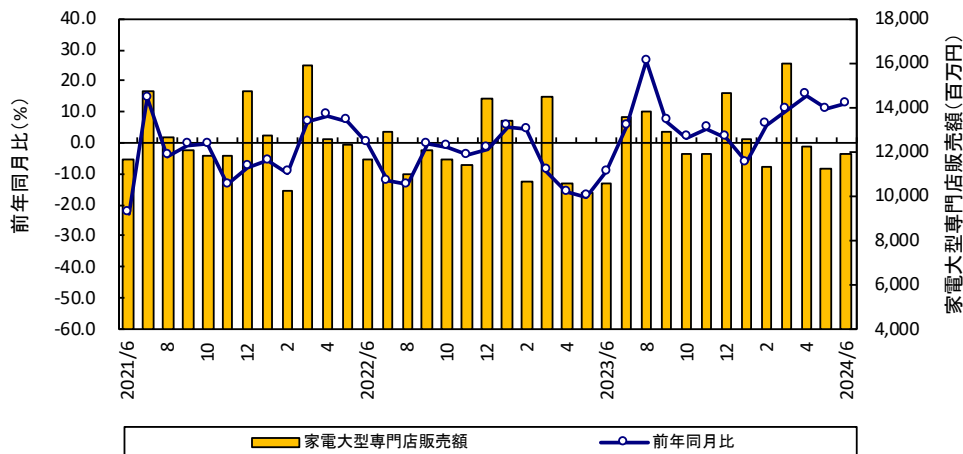


【ヒアリング内容】

- ・インバウンドと国内富裕層向けに宝飾品など高級ブランドの商品の売上げが好調だった。また、夏物衣料のほか日焼け止めや日傘などUV対策商品がよく売れた。(百貨店)
- ・土日の日数増加に伴う買上点数の増加により売上げが伸長した。また、値ごろ感のある葉物野菜や惣菜の売上げは好調だったほか、米類の売上げが伸長した。(スーパー)
- ・前年売上げをけん引した飲料やアイスなどの売上げは前年ほど伸長しなかったものの、値上げの影響もあり売上げは前年を上回った。(コンビニエンスストア)

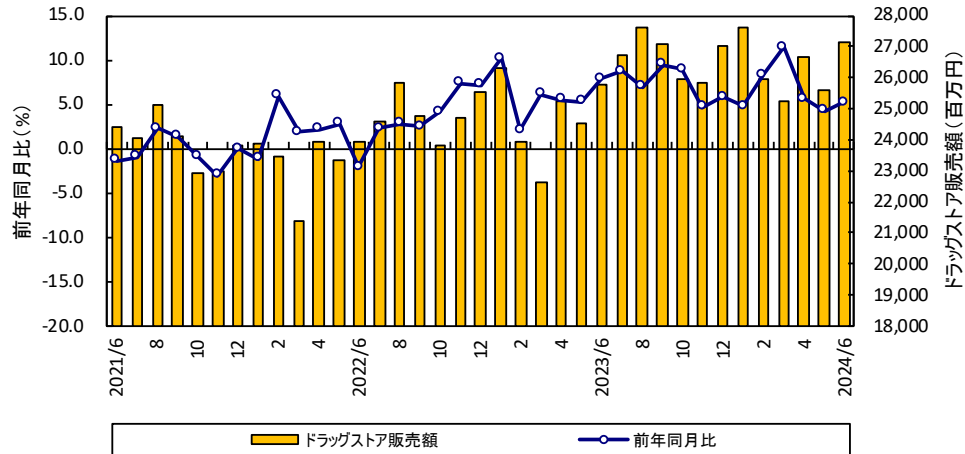
- ・家電大型専門店は、同+12.8%と5か月連続で前年を上回った。ドラッグストアは、同+5.2%と24か月連続で前年を上回った。ホームセンターは、同+3.8%と2か月ぶりに前年を上回った。
- ・新車販売は、同▲0.9%と6か月連続で前年を下回った。

家電大型専門店販売額推移



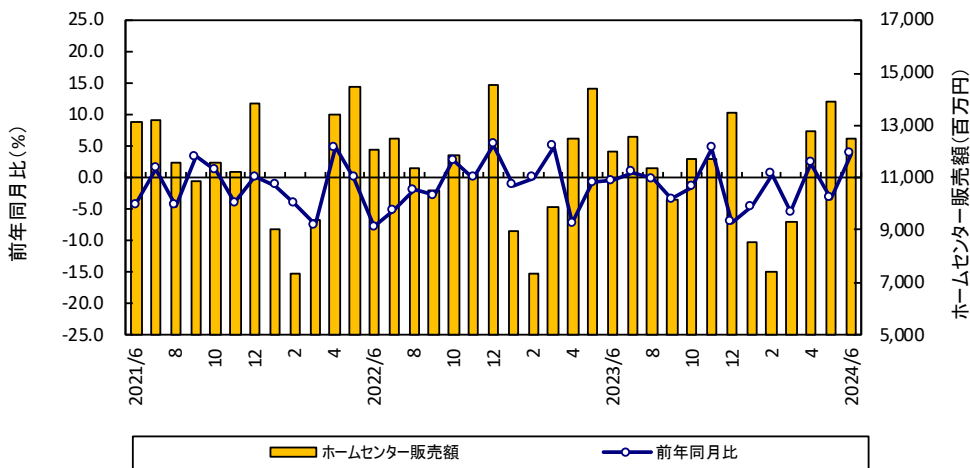
（資料：北海道経済産業局）

ドラッグストア販売額推移



（資料：北海道経済産業局）

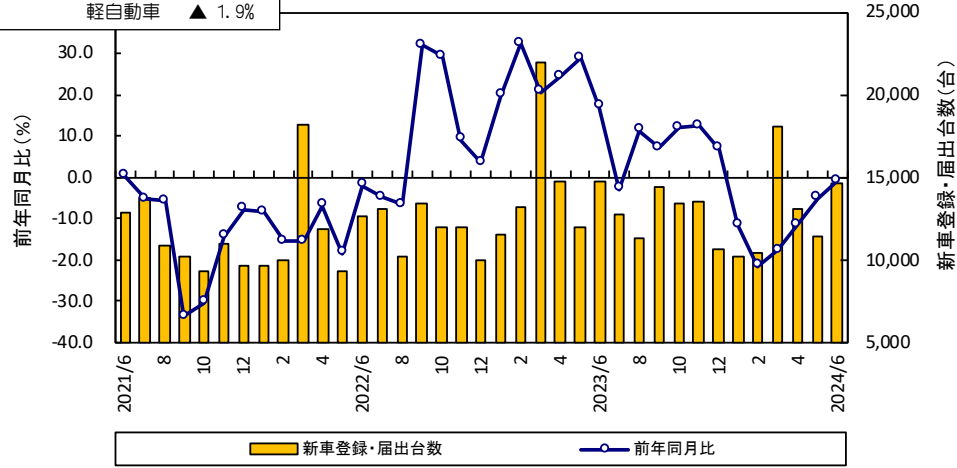
ホームセンター販売額推移



（資料：北海道経済産業局）

新車登録・届出台数推移

<6月> 普通乗用車 ▲ 5.1%
小型乗用車 + 6.0%
軽自動車 ▲ 1.9%



（資料：（一社）日本自動車販売協会連合会、（一社）全国軽自動車協会連合会）

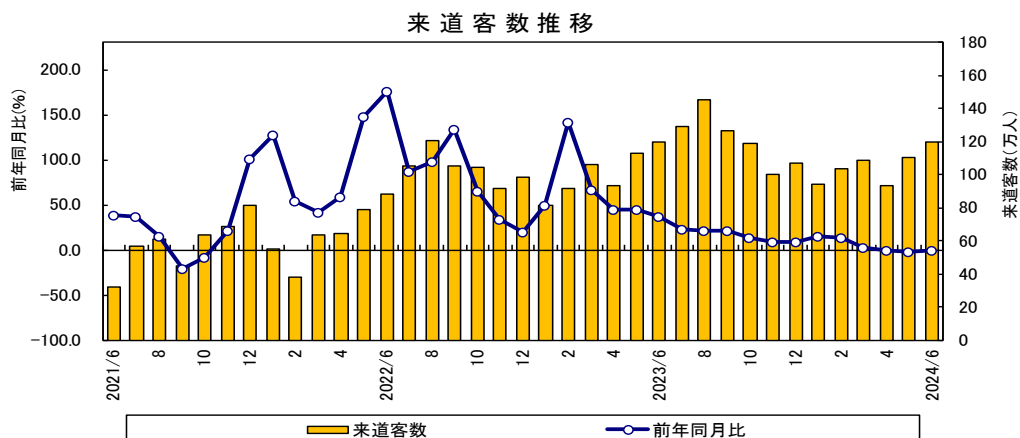
【ヒアリング内容】

- ・前月までに引き続き、エアコンとスマートフォンが売上げをけん引した。また、スポットクーラーなど夏物家電の売上げが伸長した。（家電大型専門店）
- ・日焼け止めや制汗剤などの季節性商品のほか、比較的価格帯の化粧品が好調だった。（ドラッグストア）
- ・エアコンが売上げをけん引した。一方で、値上げの影響により食料品などで売上げや売上点数の減少がみられたほか、低価格の商品への移行がみられた。（ホームセンター）

観光 ～ 改善している ～

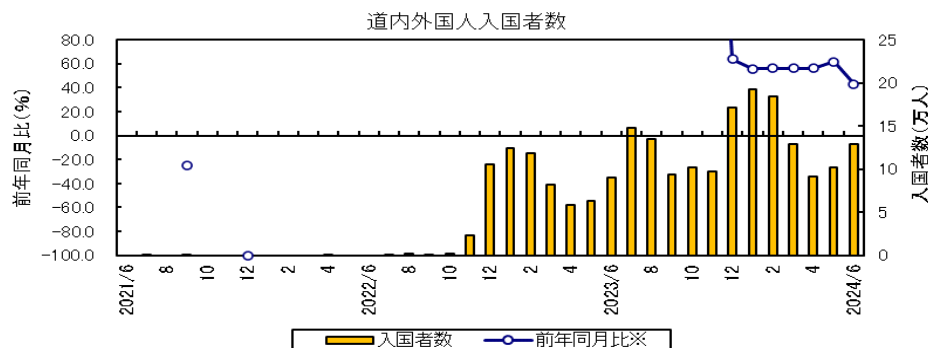
6月の来道客数は、前年同月比+0.1%と3か月ぶりに前年を上回った。また、道内外国人入国者数は、同+42.9%と24か月連続で前年を上回った。

< 6月 > 入国者数 128,608人(+42.9%)



< 6月 > 来道客数 1,201,451人(+0.1%)
 ※北海道外から航空機(国内線)、JR(北海道新幹線)、フェリーを利用して来道した旅客数。
 ※道内で入国手続きを行った外国人数は含まない。

(資料：(公社)北海道観光機構)

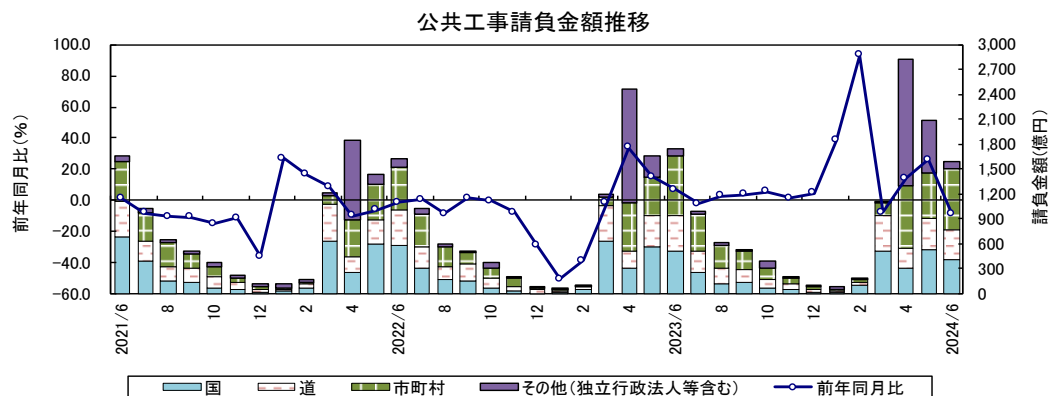


(資料：法務省) ※2022/7及び9、2023/4及び7～11の前年同月比は著しく増加したため、便宜上表示していない。

・宿泊客数はコロナ禍前と同程度まで戻ってきている。インバウンドは韓国や台湾からの外国人観光客が多かったが、欧米からの観光客も増えてきている。(観光協会)

公共工事 ～ 減少した ～

6月の公共工事請負金額は、国、道、市町村全てで前年を下回り、前年同月比▲8.7%と3か月ぶりに前年を下回った。



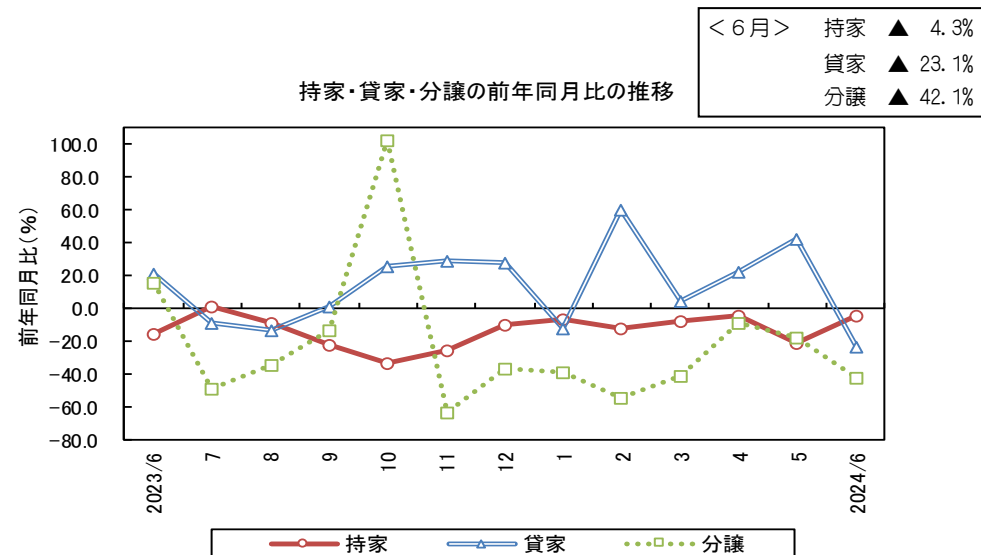
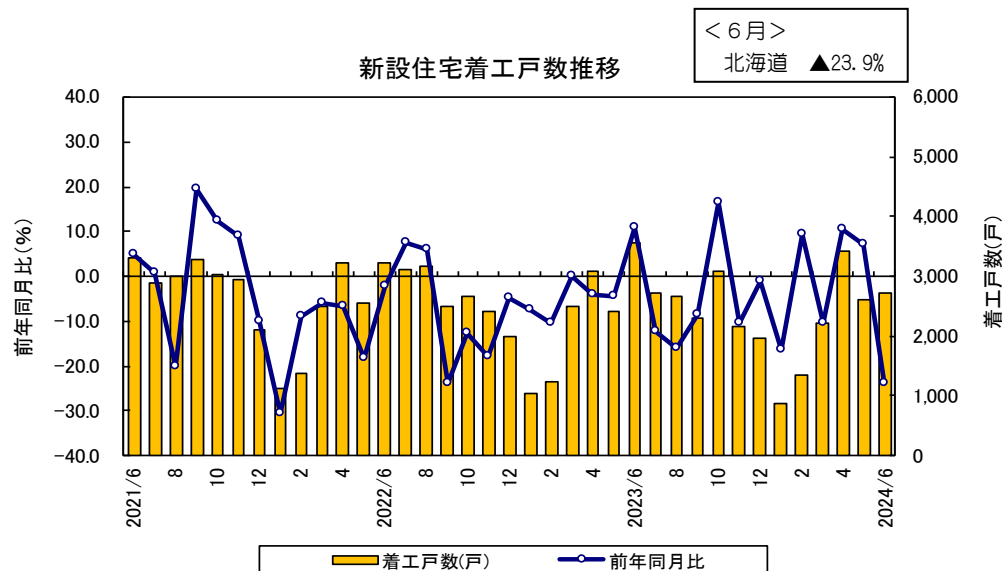
< 6月 >
 北海道 ▲8.7%
 (内 訳)
 国 ▲19.6% 道 ▲14.1% 市町村 ▲0.7% その他 +17.8%

(請負金額は国、道、市町村、独立行政法人等の合計額)

(資料：北海道建設業信用保証(株)ほか2社)

住宅建設 ～ 弱い動きとなっている ～

6月の新設住宅着工戸数は、持家、貸家、分譲全てで前年を下回り、前年同月比▲23.9%と3か月ぶりに前年を下回った。



(資料：国土交通省)

民間設備投資 ～ 増加している ～

2024年度の設備投資計画は、全体で前年度比+23.1%と3年連続で前年度を上回った。

日銀短観の設備投資動向

2024年7月1日発表

	2023年度	2024年度
北海道	+ 3.0%	+ 23.1%
製造業	+ 24.6%	+ 35.5%
非製造業	▲ 4.7%	+ 17.4%
全国	+ 10.6%	+ 8.4%

注) 土地投資額を含み、ソフトウェア投資額、研究開発投資額を除く。

注) 北海道は、電気・ガスを除くベース。

(資料：日本銀行札幌支店)

法人企業景気予測調査(北海道・設備投資)

2024年6月13日発表

	2023年度	2024年度
全産業	▲ 13.8%	+ 36.0%
製造業	+ 27.9%	+ 28.7%
非製造業	▲ 23.5%	+ 39.0%

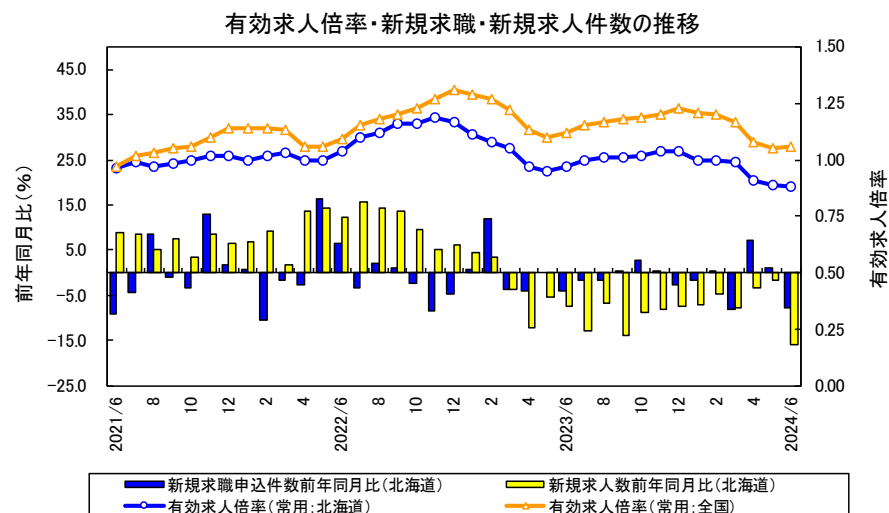
※数値は対前年比増減率。

注) ソフトウェア投資額を含み、土地購入額を除く。

(資料：北海道財務局)

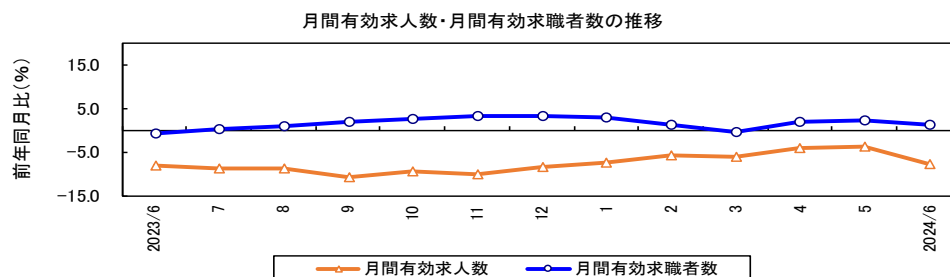
雇用動向 ～ 弱含んでいる～

6月の有効求人倍率は、0.88倍と前年同月差0.09ポイント低下し、15か月連続で前年を下回った。



< 6月>		
北海道	有効求人倍率（常用）	0.88倍
	新規求人数（前年同月比）	▲15.8%
	新規求職申込件数（前年同月比）	▲7.8%
全 国	有効求人倍率（常用）	1.06倍

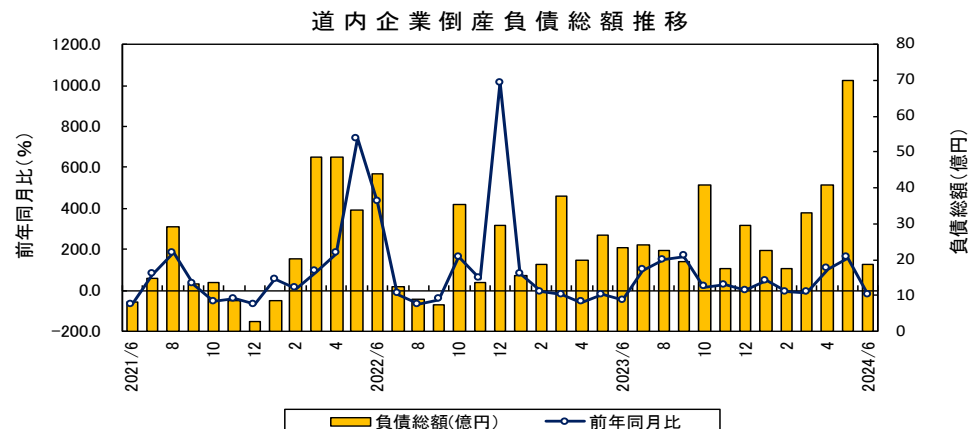
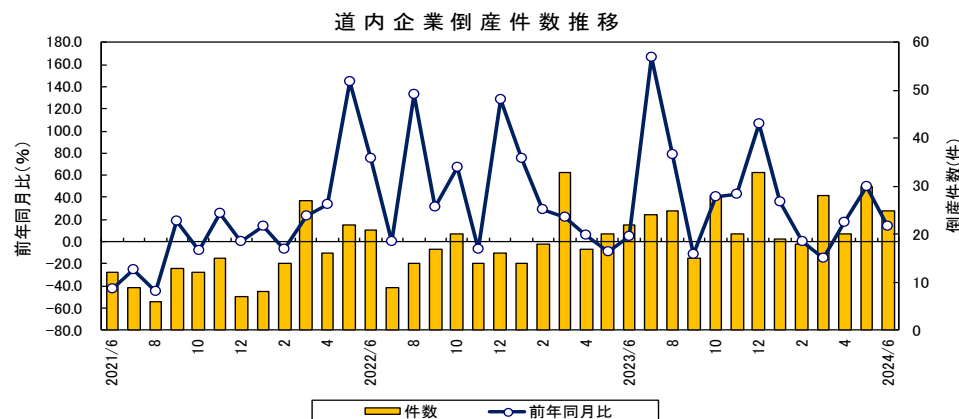
＜6月＞
月間有効求人数（前年同月比）▲7.8%
月間有効求職者数（前年同月比）+1.5%



(資料：厚生労働省、北海道労働局)

企業倒産 ～ 件数は増加、負債総額は減少した ～

6月の倒産件数は25件で、前年同月比+13.6%（3件増）と3か月連続で前年を上回った。また、負債総額は18.9億円で、同▲19.6%と3か月ぶりに前年を下回った。



(資料:(株)東京商工リサーチ)